

## 土壌診断に基づく施肥設計で 肥料コストを抑えてみませんか

実証試験における参加農業者10名（30点）の土壌診断結果【抜粋】

	pH	有効態りん酸 (mg/100g)	交換性カリ (mg/100g)
土壌診断結果			
平均値	6.4	60	57
基準値 (水稻)	5.5～6.0	10～20	20

### 施肥コスト低減事例

土壌診断結果を踏まえ、前年までの慣行施肥量を少なくとも3割低減しても収量等に影響がないことが確認されたため、令和5年産については参加農業者の施用量を前年比7割とする方針とした。

（肥料価格（単価）の昨年からの上昇分を考慮すると、作付面積当たりの肥料コストとしては概ね同水準）